

文章をリライトし、段落のつながりを考えよう

中心学習材「アップとルーズで伝える」(光村図書4年下)

<p><育てたい主となる能力></p> <p>◎目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。(読イ)</p>	<p><主となる言語活動></p> <p>◎段落相互の関係をつかむために説明的文章をリライトする。</p>
---	---

1 子どもと単元について

(1) 学習者観

子どもたちは、1学期に学習した『『かむ』こと力』で、段落相互の関係や事実と意見の関係を考えながら文章を読む力を付けるために、題名や繰り返し出てくる言葉、接続語に気を付けて読み、要点をとらえ、段落のつながり方を考える学習をした。また、段落相互の関係をつかむ力を活用し、モデルの説明的文章の段落を並べ替える活動や図書館の本を読み、段落のつながりを考えて「体の本」書く活動をしてきている。

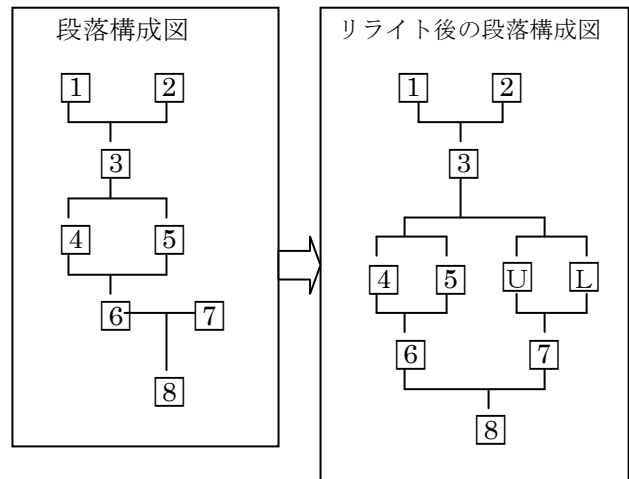
これまでの説明的文章の学習を踏まえて子どもたちは、「はじめ・中・終わり」が分かり、キーワードや文章の前後関係から段落相互の関係をとらえることがだいぶできるようになってきている。

(2) 学習材観

本単元「文章をリライトし、段落のつながりを考えよう」は、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を読むことをねらいとしている。

本学習材「アップとルーズで伝える」は、8段落で構成された説明的文章である(下の段落構成図)。テレビや新聞を通して届けられる映像や写真が、送り手の目的や意図によって取捨選択されたものであるということを、基本的なテレビ映像の技法である「アップとルーズ」を通して述べている。テレビの映像を通してさまざまな情報を得ている子どもたちにとって大変興味深い内容であると考えた。

本学習材からは、サッカーの映像を基に述べた筆者の考え考えは伝わってくるが、問題提示の文章がまとめの文章と呼応しにくい。また、テレビの映像を主体に文章が述べられているために新聞を取り上げた段落は1段落と偏りがみられる。そこで、本学習材を用いて、テレビと新聞の二つの段落のまとまりの比重が同じようになるように書き加えるリライトの言語活動に取り組むことで、段落相互のつながりを意識した学習をすることができると考えた。



(3) 学習指導観

指導に当たっては、以下の点に留意していく。

第1次では、段落構成をバラバラにした説明的文章のモデルを読ませることで、必ずしもいつも段落相互の関係が整った文章になっているとは限らないという実感をもたせ、説明的文章を読み進めていく興味をもたせる。「アップとルーズで伝える」をより分かり易い説明的文章にするリライトを言語活動にして、できた文章を学年の他学級の友だちに読んでもらうという見通しをもたせていく。

第2次では、学習材「アップとルーズで伝える」の要点を書きまとめ、段落構造図にして表す。問題提示を受けて、答えの段落を探し、始めの段落(①②)、テレビについての段落(③～⑥)、新聞についての段落(⑦)、まとめの段落(⑧)となっていることをつかみ、段落構造図にして表すことができるよ

うにする。ここでは、これまでに付けてきた説明的文章を読む力を活用し、できるだけ自力でまとめていけるようにワークシートや手引きを用いる。また、文章構成や逆接の接続語とその役割等、新しく読んでいくときに手がかりになることを子どもたちが「説明的文章の読みの貯金」として今後活用していけるようにしていく。段落構成図に表した際には、問題提示と答えのずれに気付くようにし、もっと文章が分かり易くできないかを考え、問題提示の文章を書き直す活動を行う。さらに、内容を見るとテレビと新聞のまとまりに偏りがあることに気付かせ、より段落相互の関係が分かり易くなるように自分なりの説明的文章を書く意欲をもたせる。

第3次では、読み取ったことを活用し、新聞に関する内容の7段落に書き加えるリライトの言語活動を組む。始めに、「アップとルーズ」の観点で書きたい新聞写真を子どもたちに選ばせ、意欲を高めていく。次に、文章構成を理解するために学習した、手がかりを使い、選んだ写真から「伝えられることと伝えられないこと」を自分なりに考えて書く。書き上がった文章を⑦段落に加えながら子ども同士で読み合い、段落のつながりを考える相互評価を行うことによりメタ認知を図る。

第4次では、それぞれがリライトした説明的文章を読み合う。多くの文章を互いに読み合う活動を通して、段落相互の関係を確かなものにするとともに、新聞への関心を高め、親しむことで新しい情報を得る喜びを味わえるようにする。

《読書との関連》

本単元では、読書との関連を以下のように図っていく。

情報メディアや写真等に関連した本を集めたブックコーナーを設置して、子どもたちがいつでも本を手にすることができるようにする。資料は、リライトをする際に写真の効果を実感できるようにする。

【ブックトラックに用意した本や資料のリスト】

番号	書名・資料名	著者名	出版社
1	総合的な学習のテーマが見つかるアイデア新聞5 「情報・通信ネットワークを活用」	横山 正	金の星社
2	花巻東 激闘2009		岩手日報社
3	岩手日報の記事		岩手日報社
4	読売新聞の記事		読売新聞社

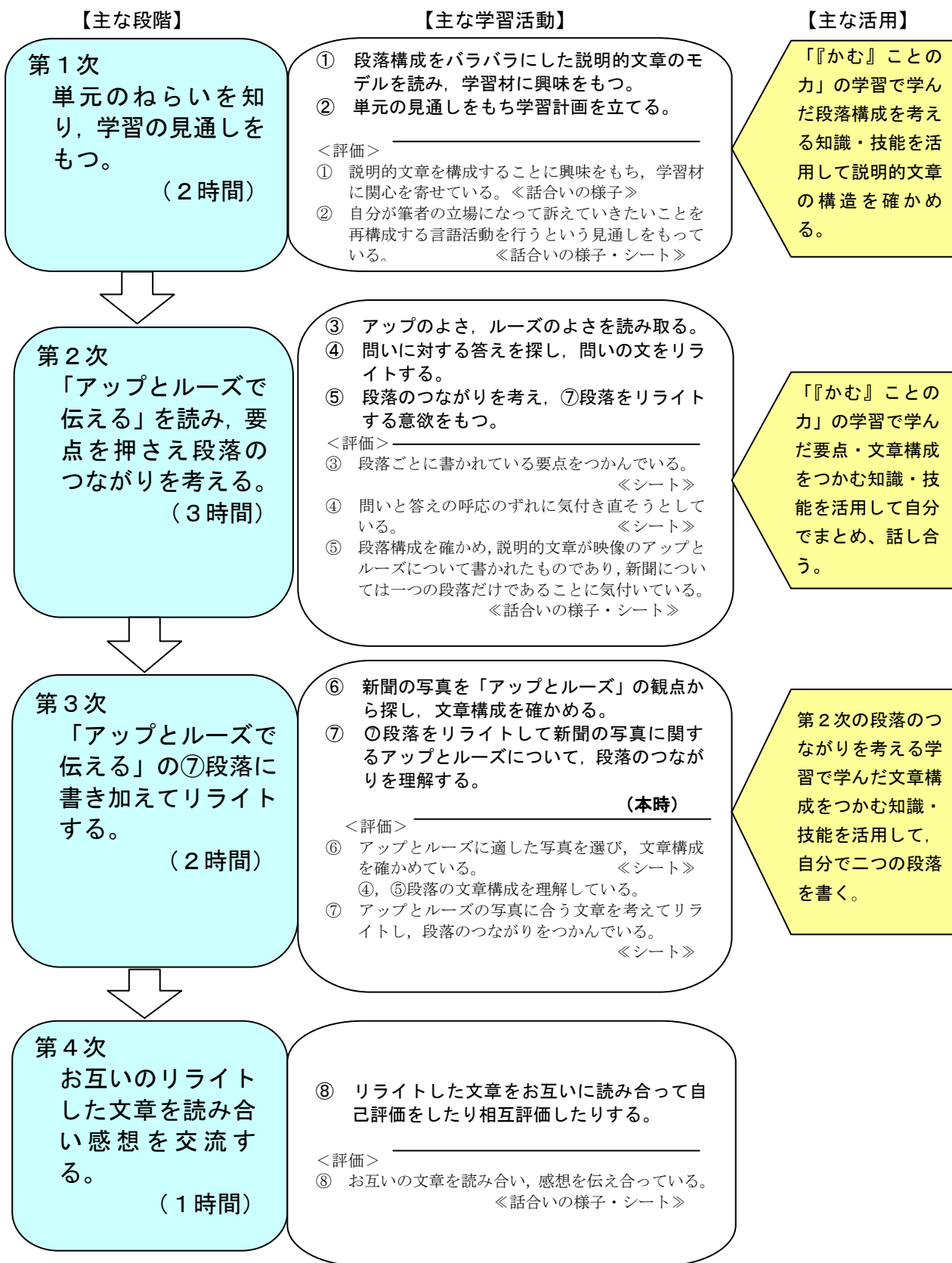
(4) 教科等の学習や日常生活への活用例

- ・総合的な学習の時間における活動で調べた内容を説明的文章にまとめる。
- ・国語科の学習「生活を見つめて」において、段落相互の関係などに注意して文章を構成する。(国語)

2 学習指導目標及び評価規準

	学習指導目標	評価規準
国語への関心・意欲・態度	◎説明的文章を進んで読み、段落相互の関係を確かみ、リライトすることで段落のつながりを意識した文章にしようとする。	・「アップとルーズで伝える」の文章を読んで段落相互の関係を確かみ、リライトすることで、段落のつながりを意識した文章にしようとしている。
読む能力	◎目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むことができる。(読イ)	・「アップとルーズ」の中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と筆者の意見の関係を考え、文章を読んでいる。
書く能力	○文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成することができる。(書イ)	・文章全体における段落の役割を理解し、新聞の写真においても「アップとルーズ」の関係が明確になるように、段落相互の関係を注意して文章を構成している。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うことができる。(イ(ク))	・指示語や接続語が文と文との意味をつなぐ役割をしていることを理解し、使っている。

3 学習指導計画（全8時間）



4 本時の指導

(1) ねらい

新聞に掲載されているアップとルーズの写真が伝えられることと伝えられないことを、学習材に書き加えるリライトをすることにより、段落相互の関係をとらえることができる。

(2) 既習の知識・技能を活用する言語活動

「アップとルーズで伝える」の第2次では、要点をつかみ、段落相互の関係を考えることで主に映像のアップとルーズについて説明した本学習材の段落構成をつかんだ。そこで学んだ段落相互の関係をつかむ知識・技能を生かし、学習材が新聞に関する段落の比重が同じようになり、より分かり易い段落構成の説明的文章となるようにリライトする。

(3) 展開

段階	学習活動・学習内容	総時	指導上の留意点
つかむ	<p>1 本時の学習課題を確認する。 (1分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> リライトをして、段落がうまくつながるようにしよう。 </div> <p>2 課題解決の見通しをもつ。 (3分)</p>	全 全	<p>○学習材をよりわかりやすくするために、中谷さんの文章に書き加えていくリライトの学習をすることを確かめ、単元の中における本時の位置付けを確認する。</p> <p>○第2次で学んだ「映像のアップとルーズから伝えられることと伝えられないこと」の書きぶりを使って、自分が新聞から選んだアップとルーズの写真について書き、段落のつながりを考えることを確認する。</p>
読みとった文章構成を活用してリライトした文章を書く	<p>3 学習課題を解決する。 (1) 自分の選んだアップとルーズの写真について写真から伝えられることと伝えられないことを書く。 (28分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (～を見てみましょう。) <書くときの四つの条件> ①アップから伝えられることと伝わらないこと (逆接の接続語でつなぐ) ②ルーズから伝えられることと伝わらないこと (逆接の接続語でつなぐ) ③まとめ ④150字程度でそれぞれをまとめること </div> <p>(2) 交流したことを基に段落構成を確かめる。 (7分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・⑧段落とのつながり ・文章構成図での確かめ </div>	個 ペア 全	<p>「選んだ写真から伝えられることと伝えられないことを考えて書きましょう」</p> <p>○以下のような文章構成で書くことが段落をつないでいくことになることを実感させていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真が伝えていることをわかりやすく書くこと ・接続語を使うこと ・写真の見えない部分を想像し、何が伝えられないことなのかを考えて文章をつなぐこと ・ルーズの段落にはまとめを書き加えること <p>○ワークシートに書き終わった児童から、相互に読み合っ て交流し、段落のつながりを意識した文章になっている かどうか確かめ合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <評価> A文章構成を意識して、四つの条件に沿い、写真の状況を説明する言葉を多く用いて書いている。 B文章構成を意識して四つの条件に沿って書いている。 Cへの支援 ・④や⑤段落の文章構成を1行ずつ確認し、書き進めることができるようにする。 <シート> </div> <p>「⑦段落と⑧段落のつながりを確かめていきましょう。」</p> <p>○段落毎に文章構成を意識して書くことができたか確かめ合うために、⑦段落に書いた文章を入れて聞き合う。もとの学習材がより分かりやすくなっていることを実感するために、⑦段落の言葉と内容のつながりを考えたり、段落構成図で確かめたりする。全体で確かめ合うことにより、思考力・判断力を高め、考えを伝え合うことで表現力を高めていくことにつながるものとする。</p>

ま と め る	<p>5 学習を振り返る。 (1) 自己評価をする。 (4分)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・できたこと ・わかったこと </div> <p>(2) 振り返りを交流する。 (1分)</p> <p>6 次時の学習内容を確認する。 (1分)</p>	<p>○「アップやルーズの写真を基にして伝えられることと伝えられないことを考えることができた。」「自分で新しく段落を書き加えたから、この文章がもっと分かりやすくなった。」など、今日の学習で「できたこと」や「分かったこと」を視点に自己評価させる。</p> <p>○本時のねらいにかかわる評価をしている子どもを意図的に指名し、価値付けを図る。</p> <p>○次時は自分の作った文章について友達と交流する。</p>
------------------	---	---